

かごしま「女性活躍推進事業所」応援大会

～経営戦略としてのダイバーシティ・マネジメント～

開催
しました!

平成28年6月24日に、かごしま県民交流センターにおいて、同日設立された「鹿児島県女性活躍推進会議」のキックオフイベントとして、『経営戦略としてのダイバーシティ・マネジメント』についての理解を促進し、県内における女性活躍推進の取組拡大を図ることを目的に、「かごしま「女性活躍推進事業所」応援大会」を開催しました。企業、県民及び行政関係者の皆様など、約200名に御来場いただきました。

「女性が働き続けられる職場づくり促進事業」報告会

まず、昨年度、県男女共同参画センターが実施した「女性が働き続けられる職場づくり促進事業」の報告会を行いました。はじめに、事業実施に直接携わっていただいた4名の方々から、事業内容等についてそれぞれご報告をいただきました。

- たもつゆかりさん「事業構想の背景について」
- 森園仁美さん「事業の概要について」
- 高崎恵さん「ワークショップで共有と共感を」
- 松田将紀さん「『女性活躍事業所』中小企業への取り組み事例」

次に、参加事業所5社のうち、康正産業株式会社の花北ゆう子さんと株式会社クリーン産業の下羅智嗣さんに事例発表をしていただきました。

事業所名	業種	女性/従業員	女性管理職/管理職
康正産業(株)	飲食店、レストラン等	1,113/1,853人(60%)	2/42(5%)
(株)クリーン産業	浄化槽維持管理業等	3/22人(14%)	1/3(33%)

・本事業には、他に(株)プロゴワス、(社福)慶生会、(株)シー・スタイルが参加しました。

○花北さんから「この研修を通して、人手不足などの課題解決を含め、会社の存続のためには、今いる人材（宝）に最大限力を発揮してもらえる環境づくりが必要であること、コミュニケーションの場を設けることが大切であることに気づきを持てた。康正産業では、現在、双方向のコミュニケーションをキーワードとした「康正未来塾」の各職場での開講、出産・育児休暇に係る就業規則の見直し、セクハラ・パワハラ研修の実施などあらたな取り組みを始めている。」

○下羅さんから「多様性ワークショップ等を受講し、人はそれぞれ違いがありその違いを否定するのではなく、認め合うことの重要性を理解できた。コンピテンシー研修の結果を活かし、人事評価・賃金体系の見直しに着手した。男性中心の会社だが、今後、性別にかかわらず多様な人材を確保するために、パートの雇用や男女ともに家事・育児・介護に関われるよう環境を整備し、残業・休日出勤が当たり前でなく、職員がやりがいを持って働ける職場にしていきたい。」

<参加者の感想>

- ・身近な企業の取組が大変わかりやすく説明され、取組前と後の成果が現れたことは非常に良かったと思いました。
- ・会社全体(経営トップから全社員)として、共通認識を持つことの重要性を痛感しました。



講演 Just do it! - 議論はもういい - ~多様な人材の活躍推進について~

カルビー株式会社代表取締役会長兼CEO 松本晃さん



引き続き、カルビー株式会社代表取締役会長兼CEO松本晃さんに、同社が女性の活躍をはじめとするダイバーシティ推進になぜ取り組むのか、また、トップの強力なリーダーシップによる同社の取組の現状等について御講演いただきました。カルビー株式会社は、ダイバーシティを推進しながら、7期連続で最高益を記録しています。松本さんからは、「性別、国籍、障害の有無、年齢などに関係なく多様な人材を活用する『ダイバーシティ』は成長のエンジンであり、このエンジンなしに会社の経営はできない。」ことなどのお話がありました。

<参加者の感想>

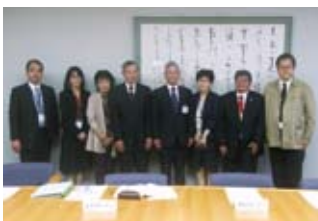
- ・ダイバーシティの必要性和成果を出すポイントをわかりやすく説明いただき、ダイバーシティの実現に向けたイメージがわかりました。
- ・自社の問題と感じていることをすでに取組まれ実行されていること。さらに女性の活用を非常に積極的に取組まれていることに感動・納得させられました。
- ・厳しさと温かさの両方で、社員が生き生きと働く職場環境作りの重要性。大変わかりやすくおもしろかったです。
- ・ダイバーシティ経営という視点だけでなく、人としての働き方を考える機会となりました。



※「鹿児島県女性活躍推進会議」

女性とその個性と能力を発揮して活躍し、男女がともに安心して生き生きと働くことのできる「鹿児島」の実現を目指し、多様な主体が連携して本県における女性活躍の取組を加速化するために設立。経済団体、農林水産関係団体、大学、行政等で構成。

サポーター's コーナー



【委嘱式にて】

4月16日(土)に今年度のサポーター委嘱式がありました。今年度新たに1名のセンターサポーターが加わり、センターサポーター3名、託児サポーター4名になりました。センターサポーターは、当センター事業のサポートや情報発信を行います。託児サポーターは、託児サービスを伴う事業でお預かりしたお子さんを安全に見守ります。両サポーターとも今年度もよろしくお祈りします!



【主催事業の受付をサポート】